2020 年度　前期

留学生教育・支援センター

日本語プログラム科目　シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
【Intensive Program】Traditional Japanese Culture	Mon. 3	Tada (in charge)	… 1
中級Ⅰ　会話	金 3	川崎	… 2
中級Ⅰ　作文	火 4	古本	… 3
中級Ⅰ　読解	月 1・2	安田	… 4
中級Ⅰ　聴解	木 3	小谷	… 5
中級Ⅰ　漢字	木 2	渡邊	… 6
留学生教育支援センターで開講されている日本語プログラムでの各レベルについて			… 7

2020 Spring	Day・Period	Monday・3rd period	Number of sessions per week	1 session/week
Subject	【Intensive Program】Traditional Japanese Culture			
Teacher	TADA Miyuki（in charge of this subject）		e-mail	To be provided in the first class session
Goals	To understand Japanese Culture			

Class Outline

The classes marked " @Japanese Room" will be held at the Japanese Room. The place of the Japanese Room is to be announced.

No.1	4/13	Orientation (TADA)
No.2	4/20	Shinto and Shrine (TADA)
No.3	4/27	Field trip to Suwa Shrine (TADA)
No.4	5/11	Kendo 1 (Furumoto)
No.5	5/17※	Kendo 2 (Furumoto)　13：00～14：30
No.6	5/25*	Tea Ceremony 1 (Instructor) @Japanese Room
No.7	6/1	No class
No.8	6/8	Japanese Dance 1　(Instructor) @Japanese Room
No.9	6/15	Japanese Dance 2　(Instructor) @Japanese Room
No.10	6/22*	Tea Ceremony 2　(Instructor) @Japanese Room
No.11	6/29*	Flower Arrangement 1(Instructor)
No.12	7/6	Rakugo (TADA)
No.13	7/13*	Flower Arrangement 2(Instructor)
No.14	7/20	Kimono (Instructor) @Japanese Room
No.15	7/27	Presentation about "my favorite experience in this class" in Japanese (TADA)

※Kendo practice with Japanese students on Sunday.

* **Instructors of Tea Ceremony and Flower Arrangement have to buy materials for the classes. If you know you can't attend these days in advance, please tell or mail to TADA.**

Textbook etc.	Printed sheet, if necessary
Evaluation	Class participation 25%　Report　25％×2＝50％　Presentation 25% Note: Students are expected to attend all classes. More than 2/3 attendance is mandatory for receiving an evaluation.
Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
Remarks	In this course, you may take exams another day when the situation is unavoidable (ex. important registration or exams in your home university, on-board ship training etc.). But, in that case, just 90% of the test score you actually got will be certified on the test. Personal reason, such as traveling and family visit, is unacceptable.

2020 年度　前期	曜日・校時	金曜日・3 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅰ会話			
担当教員名	川崎　加奈子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	教科書の会話を発展(はってん)させ、トピックについて自然(しぜん)な会話ができるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

教科書にある会話の内容を把握(はあく)した後、ペアやグループで会話を作り、できるだけ自然な会話ができるように練習します。テストはユニット５ごとに口頭テストと筆記テストが３回ずつあります。

第 1 週	4 月 8 日	オリエンテーション・Part 0
第 2 週	4 月 17 日	Part 1　Unit 1
第 3 週	4 月 24 日	Part 1　Unit 2
第 4 週	5 月 1 日	Part 1　Unit 3
第 5 週	5 月 8 日	Part 1　Unit 4
第 6 週	5 月 15 日	Part 1　Unit 5
第 7 週	5 月 22 日	テスト①
第 8 週	5 月 29 日	Part 2　Unit 6,7
第 9 週	6 月 5 日	Part 2　Unit 8,9
第 10 週	6 月 12 日	Part 2　Unit 10
第 11 週	6 月 19 日	テスト②
第 12 週	6 月 26 日	Part 3　Unit 11,12
第 13 週	7 月 3 日	Part 3　Unit 13
第 14 週	7 月 10 日	Part 3　Unit 14
第 15 週	7 月 17 日	Part 3　Unit 15
第 16 週	7 月 31 日	テスト③

教科書・教材等	『にほんご会話上手！』岩田夏穂、初鹿野阿れ著、アスク出版
成績評価の方法・基準等	テスト①20%、テスト②20%、テスト③20%、 授業への参加度（出席・授業態度）20%、宿題 20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2020 年度　前期	曜日・校時	火曜日 4 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級 I 作文			
担当教員名	古本　裕美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 適当なやり方で，友達や先生に e-mail や手紙を書くことができる。 (2) マナーを守って，SNS に投稿できる。 (3) 自分のことについて，段落の長さとまとまりで詳しく書くことができる。 (4) 基本的な書き言葉のルールを使って，単文を書くことができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

授業では，「宿題提出」，「新しい宿題の確認」，「宿題のシェアとフィードバック」，「書く練習」をします。

第 1 週	4/14	Course Orientation, Write your CV
第 2 週	4/21	How to type Japanese (*Bring your laptop.*)
第 3 週	4/28	Write an e-mail
第 4 週	5/12	Write about your hometown
第 5 週	5/19	原稿用紙の使い方を知る，人を紹介する
第 6 週	5/26	作り方を説明する
第 7 週	6/2	自分の国と日本を比べる
第 8 週	6/9	自分の意見を述べる
第 9 週	6/16	図・表を説明する
第 10 週	6/23	暑中見舞いを書く
第 11 週	6/30	試験 (1)
第 12 週	7/7	句読点の打ち方，書き言葉（普通体）
第 13 週	7/14	書き言葉（連用中止形）
第 14 週	7/21	いろいろな書き言葉
第 15 週	7/28	間接話法，復習
第 16 週	8/4	試験 (2)

教科書・教材等	配布資料
成績評価の方法・基準等	(1) 宿題（予習 20%，復習 25%，facebook への投稿 20%）：65% (2) 試験 (1)：10%　　(3) 試験 (2)：15%　　(4) 授業への参加度：10% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の 3 分の 2 に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2020 年度　前期	曜日・校時	月曜日 1・2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	中級 I 読解			
担当教員名	安田眞由美		e-mail	yasuda@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
授業到達目標	450 字～600 字程度の長さの文章が読めるようになる。本文中の語彙や文型を理解し、自分で使えるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

『中級を学ぼう』を使って授業を進めます。３コマで１課を終わるくらいのペースで進めていきます。そして、３課が終わるごとに復習テストを実施します。

第 1 週	4/8	オリエンテーション／第 1 課
第 2 週	4/15	第 1 課
第 3 週	4/22	第 2 課
第 4 週	5/13	第 2 課
第 5 週	5/20	第 3 課
第 6 週	5/27	第 3 課／第 4 課
第 7 週	6/3	第 1 課から第 3 課の復習テスト／第 4 課
第 8 週	6/10	第 4 課
第 9 週	6/17	第 5 課
第 10 週	6/24	第 5 課／第 6 課
第 11 週	7/1	第 6 課
第 12 週	7/8	第 4 課から第 6 課の復習テスト／第 7 課
第 13 週	7/16	第 7 課
第 14 週	7/22	第 8 課
第 15 週	7/29	第 8 課
第 16 週	8/5	第 7 課～第 8 課の復習テスト

教科書・教材等	平井悦子・三輪さち子著『中級を学ぼう　中級前期』スリーエーネットワーク
成績評価の方法・基準等	復習テスト（25%×3 回＝75%）　　授業への参加度 25% 注意 : 授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能なJLPT（日本語能力試験）のレベル	CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のレベル
初級Ⅰ	初級前半	初歩的な文法・漢字（100 字程度）、語彙（800 語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級Ⅱ	初級後半	基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級Ⅰ	中級前半	基本文法の応用ができ、漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し、一般的なことがら、日常的な話題について、簡単な会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級Ⅱ	中級後半	やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し、少し高度な一般的なことがら、日常的な話題について、会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級Ⅰ	上級前半	高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。		
上級Ⅱ	上級後半	高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級Ⅰ （5 単位，週 5 コマ）	中級Ⅰ読解（2 単位，週 2 コマ）	上級Ⅰ読解 （2 単位，週 2 コマ）
初級Ⅱ （5 単位，週 5 コマ）	中級Ⅰ聴解（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅰ総合 （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅰ会話（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 A （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅰ作文（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 B （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅰ漢字（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 C （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅱ読解（2 単位，週 2 コマ）	上級Ⅱ総合 D （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅱ聴解（1 単位，週 1 コマ）	日本語能力試験 N1 対策講座（1 単位，週 1 コマ）
	中級Ⅱ会話（1 単位，週 1 コマ）	
	中級Ⅱ作文（1 単位，週 1 コマ）	
	中級Ⅱ漢字（1 単位，週 1 コマ）	
	中級総合 A（1 単位，週 1 コマ）	
	中級総合 B（1 単位，週 1 コマ）	

＊週 1 コマとは，1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

（本ページのみ：2015/07/30 作成，2018/01/26 更新）